

成分表（浴用 その1）阿蘇の司ビラパークホテル

- 1 温泉湧出地：阿蘇市黒川字松ノ本1245番1
 2 泉質：ナトリウム-硫酸塩・炭酸水素塩温泉（低張性・中性・高温泉）
 3 泉温：59.4℃
 4 温泉の成分：下記のとおり

解離成分総数 2284mg/kg

陽イオン	mg/kg	m. Val	m. Val%	陰イオン	mg/kg	m. Val	m. Val%
リチウム				フッ素	0.30	0.01	0.03
ナトリウム	699.90	30.45	96.78	塩素	199.90	5.64	17.83
カリウム	4.60	0.12	0.38	ヨウ素			
アンモニウム				臭素			
マグネシウム	7.40	0.61	1.93	硫化水素			
カルシウム	4.70	0.23	0.73	硫酸	823.00	17.14	54.17
バリウム				リン酸二			
ストロンチウム	0.50	0.01	0.03	水素			
鉄(Ⅱ)	3.50	0.13	0.41	水酸			
アルミニウム				炭酸水素	539.80	8.85	27.97
マンガン(Ⅱ)	0.20	0.01	0.03	硝酸			
鉄(Ⅲ)				チオ硫酸			
				亜硝酸			
陽イオン計	720.80	31.56	100.00	陰イオン計	1563.00	31.64	100.00

遊離成分

非解離成分	mg/kg	m. mol	溶存ガス成分	mg/kg	m. Val	ラドン含有量 $3.45 \times 10^{-10} \text{Ci/kg}$ ラドン濃度 0.95M. E/kg pH 7.22
メタケイ酸	251.90	3.23	遊離二酸化炭素	66.00	1.50	
メタホウ酸	7.40	0.17	遊離硫化水素			
メタ亜ヒ酸						
非解離成分	259.30	3.40	溶存ガス成分計	66.00	1.50	
溶存物質総量	2543mg/kg		総成分計	2609mg/kg		

その他微量成分
 バリウムイオン:0.04mg/kg、硫化水素イオン:0.03mg/kg、遊離硫化水素:0.05mg/kg、総ヒ素:0.04mg/kg
 リチウム、アルミニウム、銅、亜鉛、カドミウム、鉛、臭素、チオ硫酸の各イオン、総クロム、総水銀はいずれも検出しなし。

成分表 その2

阿蘇の司ピラパークホテル

適応症及び禁忌症	使用上の注意事項
<p>この温泉は次のような適応症もありますが、禁忌症もありますので、その場合は入浴を控えてください。</p> <p>1 適応症</p> <p>(1) 一般的適応症</p> <p>神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進</p> <p>(2) この温泉固有の適応症</p> <p>きりきず、やけど、慢性皮膚病、動脈硬化症</p> <p>2 禁忌症</p> <p>(1) 一般的禁忌症</p> <p>急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他の一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)</p> <p>(2) この温泉固有の禁忌症</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 温泉療法に際しては、医師の指導を受けるのが適当です。 2 入浴時間は入浴温度により異なりますが、初めは3分ないし、10分程度とし、慣れてきたら延長しても構いません。 3 入浴中は運動浴の場合は別として、一般には安静を保ってください。 4 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さないほうが適当です。 ただし、「湯ただれ」を起こしやすい人は逆に真水で洗うか、温泉成分を拭き取るようにしてください。 5 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を保ってください。 6 高度の動脈硬化症・高血圧症・心臓病については、原則として、高温浴(42℃以上)を避けてください。 7 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こしやすいことがあるので、十分注意してください。 8 食事の直前・直後の入浴は避けることが適当です。 9 飲酒しての入浴は特に注意してください。

平成19年9月20日

熊本県阿蘇保健所長 迫田芳生

